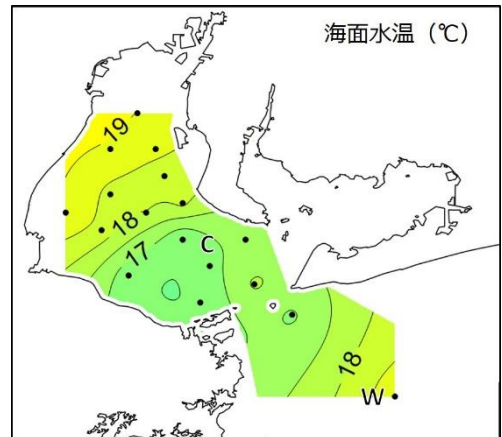


# 海況情報

## 【内湾観測結果（調査日：5月8, 10, 13日）】

8日に渥美外海、10日に伊勢湾南部、13日に伊勢湾北部の観測を実施しました。海面水温は、11～12日にかけて気温が上昇した影響で、調査日が2日間空いた伊勢湾では、北部と南部で2℃の差が生じました。13日の豊浜地先の水温が18.6℃であったことから、伊勢湾南部も10日の調査に比べて昇温していると考えられます。



## 【鉛直分布（調査点：P3～A10）】

気温の上昇に伴い、伊勢湾の成層構造が発達してきました。湾の表層には高温・低塩分の低密度水、底層には低温・高塩分の高密度水が分布し、その間に躍層が形成されています。その躍層下（水深15～20m）を湾口水が流入しています。また、湾奥の底層では、溶存酸素飽和度が50%以下となっており、今後、水温の上昇に伴い、貧酸素化（溶存酸素飽和度30%以下）していくと思われます。

